

## 第 47 回大阪府環境影響評価審査会議事概要

- 1 日 時：平成 25 年 6 月 17 日（月）10:00～11:20  
場 所：ホテルプリムローズ大阪 2階 鳳凰の間（東）
- 2 出席委員：浅利委員、加賀委員、黒坂委員、桑野委員、近藤委員、坂井委員、島田委員、中野委員、坂東委員、藤田委員、又野委員、松村委員（50 音順）
- 3 議 題：
  - (1) 東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書の検討結果について
- 4 議事内容：
  - 事務局より、検討結果（案）の概要説明（資料 1）  
<質疑応答>
    - 【委 員】地下水及び土壌の有害物質の汚染について、準備書では基準超過した有害物質 6 物質のみを記載しているが、基準未満の物質は検出されなかったのでしょうか。
    - 【事 務 局】検討結果の 51, 52 ページに記載しておりますとおり、6 物質以外の有害物質については、「79 本のボーリング調査で他の有害物質は検出されなかった。万一、6 項目以外の有害物質が確認された場合は、直ちに原因調査を行うとともに適切に対処する」とのことですので、現時点では 6 物質以外は確認されておりませんが、もし確認されれば適切に対処されるということです。
    - 【会 長】検討結果の騒音の項目で、ごみ収集車の電気自動車化について、現時点ではごみ収集車の電気自動車化の開発が進んでいるような知見は伝わってきてはいないが、事業計画地周辺で環境基準を上回っている地点もあるということも踏まえて、少し踏み込んで記載はしているが、両市や施設組合に努力していただきたいというコメントとして受け止めていただきたいと思います。
    - 【事 務 局】これについて補足させていただきますと、現時点では積み込み部のみが電気式のハイブリッド型については、環境省の補助金等もあり一定導入もされているが、走行駆動部も含めて全て電氣化されたごみ収集車については、過去に自動車メーカー 5 社の共同開発により 1988 年頃に横浜市で導入された事例がありますが、走行距離の問題などもあり、それ以降の導入は進んでいない状況です。ただし、今後の開発、実用化の動向の知見を踏まえて検討を進めていただきたいということで、指摘事項にはしていませんが検討結果に取りまとめでいただいた次第でございます。
    - 【会 長】検討結果（案）については、専門分野ごとに詳細に御検討いただいたうえで取りまとめていただいておりますので、これ以上の御意見はないということでございます。特に修正すべきとする意見はないようですので、本日の検討結果の案を、本日付で審査会の回答とさせていただきますようお願いいたします。

（各委員了承）

- 【会 長】ありがとうございました。それでは東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書の検討結果について、意見がまとまりましたので本日付で府に回答させていただきます。

○ 事務局より、今後の手続の流れについて説明（資料2）

以上